

[成果情報名] 年内出荷可能な良食味カンキツ「西南のひかり」の長崎県における果実特性

[要約] カンキツ「西南のひかり」は、果皮色が「青島温州」よりやや赤みが強く剥皮が容易な品種である。また、高糖度で減酸が早く12月上旬中旬に成熟する良食味の果実である。

[キーワード] カンキツ、「西南のひかり」、良食味、年内出荷、減酸

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2014年度

[背景・ねらい]

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、機能性成分のβクリプトキサンチンをウンシュウミカンの2倍程度(2.29 mg/100g 果樹研究所成果情報)と高含有する年内出荷可能なカンキツ「西南のひかり」が登録されており、県内への導入が図られつつある。そこで、果実形質等を調査し、本県への適応性を明らかにする。

「西南のひかり」の来歴

品種名	交配組み合わせ
西南のひかり ♀	♂
(アンコール×興津早生) NO21	× 陽香 (清見×中野3号ポンカン)

[成果の内容・特徴]

1. 果実重は150~200gで、果形指数140~150の扁球形の果実である(表1)。
2. 果皮色9~10で10月下旬着色始め、11月下旬頃に完着する。「青島温州」よりやや赤みが強く、果皮の粗滑は中、成熟が進むと浮き皮が発生しやすくなる(表1、表2)。
3. じょうのう膜の硬さは中~やや軟らかく、種子は小~中程度混入する場合がある(表2)。
4. かいよう病は、発生しにくい(表2)。
5. 果肉歩合が比較的高く、果皮の厚さは「青島温州」より小さい。12月上旬頃成熟するがこの時点での糖度は12~13、クエン酸含量1.0(g/100ml)程度で甘味比が高く良食味となる(表1)。
6. 隔年結果性はやや強い(表3)。
7. 樹姿は扁円で、樹勢は並み、枝の伸長は比較的緩慢で密生し(データ省略)、中程度の刺が発生する(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 着果負担がやや大きい場合は、翌年の着花が少なくなる傾向が強いため適正着果に努める。
2. 減酸が早く年内に成熟するが、果皮が柔らかく、浮皮が発生しやすい品種特性があることから収穫時期が遅れないよう注意する。
3. 本品種は、2009年3月19日に品種登録されている。

[具体的データ]

表1 「西南のひかり」の果実特性

年度	調査月日	品種	果形指数	果実重 (g)	着色歩合	果皮色 ^z	果皮厚 (mm)	果肉歩合 (%)	果肉色	含核程度 ^y		糖度 (brix)	酸含量 (g/100ml)
										完全	不完全		
2012	12月5日	西南のひかり	140	143	10.0	10.0	2.6	79.4	10.0	2.4	0.5	12.8	1.09
	12月5日	青島温州	147	155	9.8	9.6	3.2	74.5	9.6	0.2	0.0	11.0	1.10
	12月21日	西南のひかり	138	146	10.0	10.4	2.2	80.6	11.0	1.6	0.6	13.7	0.99
2013	12月5日	西南のひかり	140	255	9.0	9.5	2.9	79.5	9.5	0.8	0.1	11.5	1.15
	12月5日	青島温州	147	149	8.8	8.8	3.0	74.2	9.0	0.2	0.0	11.8	1.54
	12月20日	西南のひかり	137	209	10.0	9.0	2.6	82.9	9.4	0.6	0.2	11.3	0.91
2014	12月4日	西南のひかり	133	150	10.0	9.7	2.9	77.4	10.0	1.7	0.4	12.1	0.86
	12月4日	青島温州	144	132	10.0	9.4	2.9	72.9	9.0	0.0	0.0	11.2	1.07
	12月19日	西南のひかり	138	147	10.0	9.5	2.6	78.0	10.0	1.8	0.3	13.0	0.80

^z 果皮色、果肉色はオレンジ色系カーチャート値

^y 種子数は、階級別に調査 0: 無種子 1: 5粒以下 2: 6~10粒 3: 11粒以上

表2 「西南のひかり」の果実特性および樹体特性

作型	果皮			じょうのう		肉質	香り 量	果汁量	かいよう 病	刺の発生	
	色	粗滑	剥皮浮き皮	分離	硬さ					程度	長さ
露地	橙~やや赤味橙	中	易 少~中	易	中~やや軟	やや軟	少~やや少	やや多	無	中	中
対照 ^z	橙	中	易 少~中	易	中~やや軟	やや軟	少	やや多	無	無	無

^z 対照は、青島温州



写真1 「西南のひかり」の果実断面

表3 「西南のひかり」の年次別の着花・新しょう発生程度

年度	着花量 ^z (1~5段階)	新しょう量 ^y (1~3段階)
2012	4.5	1.5
2013	1.5	2.0
2014	4.0	1.8

^z) 1極少、2少、3中、4やや多、5多の達観で評価

^y) 1少、2中、3多の達観で評価

注) 2008年3月に高接ぎした樹を供試

[その他]

研究課題名：ながさきオリジナルカンキツ品種育成促進事業

予算区分：県単

研究期間：2014~2018年度

研究担当者：古川 忠